令和５年度　部局経営目標

年度	令和５年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	湯原温泉病院	部局長名	中谷由紀男

（１）部局の役割・使命（ミッション）・経営方針

【№3:すべての人に健康と福祉を】

１．持続可能な病院経営

組織内で部科及び職種間の連携を強化し、職員全員参加で病院改革に取組み、持続可能な病院経営を目指します。

２．過疎地域の医療の確保

「へき地医療拠点病院」として地域の医療を守りつつ、一次、二次救急の受け入れ救急告示病院としての役割を担います。

３．地域包括医療体制の維持

令和５年度の病院目標を『業務見直しにより診療の底上げを図る』に設定し、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域ニーズに応える地域包括医療の提供を病診連携によって強化します。

４．地域包括ケア病床等の連携体制の維持・強化

市内外、近県医療機関及びサービス事業者との病診連携をより強化します。

５．利用者確保に向けた広報活動の強化

豊かで良質な温泉と自然環境に恵まれた病院の特性を市内外に広報し、特性を活かす治療・リハビリなどの医療から健康増進まで幅広い利用者の確保に努めます。

６．感染症患者の受入体制の維持

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わっても感染症患者を受け入れる医療提供体制を維持します。

（２）事業成果目標	指標名及び目標値
1-①　効率的な病院経営（病床機能及び病床数の見直し） ・医療制度改革の動向や今後の地域人口の減少に対応するため、病床機能や病床数などの見直しを「経営強化プラン」策定の中で行い、地域の医療需要を考慮した効率的な経営を目指します。 ○医業収支率 ＊令和元年度　83.3% ＊令和２年度　80.5% ＊令和３年度　75.5% 3年間の平均値　79.8%	指標：医業収支率 目標値:85% （令和4年度実績値：決算後 ）
2-①　医療提供体制維持のための医師等の確保 ・常勤医師の確保とともに、病院経営安定のため病院独自採用医師の確保、定着を目指します。 ・将来展望を踏まえて看護師、福祉職等の採用を計画的に行います。 ＊令和５年度医師体制 ・常勤医師5名 病院独自採用医師2名（院長・副院長） 県派遣（自治医大卒）２名 岡大地域枠1名	指標:病院採用医師の確保 目標値:１人 （令和4年度実績値：0名）

3-① 地域医療体制の維持（入院患者数の維持） ・地域包括ケア病棟で症状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設で安心して生活できるようにするための退院支援やリハビリを中心に行い、かつ在宅医療を行っている患者さんに対して容態急変時の受入及びレスパイト入院（在宅療養患者の介護者の休息のための一時入院）を受け入れることにより、入院患者数の維持を目指します。 **地域包括ケア病棟　12420人** 療養病棟　　10,580人 　合計　　23,000人	指標:入院患者数 目標値:23,000人 （令和4年度実績値：20,360人）
4-① 地域包括ケア病棟の維持 ・地域包括ケア病棟の病床機能を維持し、急性期医療機能を保持しながら早期在宅復帰に向けた適切なリハビリを行います。また、地域の介護施設並びに居宅系サービス事業者と連携を密にし効果的な利用を促進します。 地域包括ケア病棟＜50床中、コロナ感染者などの感染症患者を受け入れていくことなどから、一般病床は36床とする＞ ※地域包括ケア病棟の稼働率 (3年平均83.2%) R1年度　92.6% R2年度　85.1% R3年度　72.0%	指標:稼働率 目標値:85% （令和4年度実績値：82.3%）
5-① 広報活動の推進 ・地域に寄り添い地域包括医療を担うべく、医療・介護・福祉に関連して何でも相談できる身近な医療機関として認知され選択されるよう真庭圏域への広報活動を行い、外来患者数の確保を目指します。	指標：外来患者数 （①外来②通リハ③訪看） 目標値:①28,000人 ②4,000人③3,000人 （令和4年度実績値 ①34,834人 ②3,121人 ③2,910人）
5-② 人間ドック受診者の増加 ・広報、営業活動をより積極的に行い、閑散期の冬季間などのドック受診者の増加を図り、市民の健康管理に当院の医療資源を有効活用します。 ○人間ドック実績（内、ゆけむりドック） ＊令和３年度・・754人（12人） ＊令和 2年度・・753人（ 50人） ＊令和元年度・・783人（108人） 　３年平均　763人	指標：ドック受診者数 目標値:780人 （令和4年度実績値:770人）